

① 名称	徳富ダム建設事業	
② 水系	石狩川水系	
③ 建設予定地	右岸:北海道樺戸郡新十津川町	
	左岸:北海道樺戸郡新十津川町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成16年度	
	変更2:平成19年度	
⑦ 総事業費	約532億円	
⑧ 総貯水容量	36,000千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持42.0%、かんがい用水56.8%、水道用水1.2%	
⑩ 開発水量	(かんがい)最大15.332m <sup>3</sup> /s	
	農林水産省	
	(水道)5,200m <sup>3</sup> /日 西空知広域水道企業団	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	368 億円
	測量及び試験費	67 億円
	用地費及び補償費	58 億円
	上記以外	39 億円
⑫ 予算執行状況		366 億円
進捗状況		69 %
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	10 億円
	平成17年度	12 億円
	平成18年度	20 億円
	平成19年度	12 億円
	平成20年度	13 億円
⑭ 完成予定年度	H22	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	50 %
	関連工事	100 %
	転流工	100 %
	本体工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	当別ダム建設事業	
② 水系	石狩川水系	
③ 建設予定地	右岸:北海道石狩郡当別町	
	左岸:北海道石狩郡当別町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、 かんがい用水、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画) の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成16年度	
	変更2:平成17年度	
⑦ 総事業費	約684億円	
⑧ 総貯水容量	74,500千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持71.2%、 水道用水28.8%	
⑩ 開発水量	(かんがい)最大13.386m3/s 農林水産省	
	(水道)83.819m3/日 石狩西部広域水道企業団	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	221 億円
	測量及び試験費	113 億円
	用地費及び補償費	334 億円
	上記以外	16 億円
⑫ 予算執行状況		405 億円
進捗状況		59 %
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	9 億円
	平成17年度	10 億円
	平成18年度	13 億円
	平成19年度	25 億円
	平成20年度	36 億円
⑭ 完成予定年度	H24	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	98 %
	関連工事	63 %
	転流工	100 %
	本体工事	57 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	58 戸
	移転済み戸数	58 戸
	移転終了(完了)年度	H13

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	厚幌ダム建設事業	
②	水系	厚真川水系	
③	建設予定地	右岸:北海道勇払郡厚真町	
		左岸:北海道勇払郡厚真町	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成14年度	
		変更1:平成19年度	
⑦	総事業費	約360億円	
⑧	総貯水容量	47,400千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.2%、水道用水0.8%	
⑩	開発水量	(かんがい)最大12.663m3/s	
		農林水産省	
		(水道)1,630m3/日 厚真町	
⑪	事業費の内訳	本工事費	144 億円
		測量及び試験費	90 億円
		用地費及び補償費	115 億円
		上記以外	11 億円
⑫	予算執行状況 進捗状況		130 億円
			36 %
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	7 億円
		平成17年度	11 億円
		平成18年度	7 億円
		平成19年度	1 億円
		平成20年度	6 億円
⑭	完成予定年度	H28	
⑮	現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	79 %
		関連工事	14 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	7 戸
		移転済み戸数	7 戸
		移転終了(完了)年度	H15

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	西岡生活貯水池整備事業	
②	水系	天塩川水系	
③	建設予定地	右岸:北海道上川郡剣淵町	
		左岸:北海道上川郡剣淵町	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成9年度	
		変更1:平成16年度	
⑦	総事業費	約105億円	
⑧	総貯水容量	844千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持98.7%、水道用水1.3%	
⑩	開発水量	550m3/日	
		剣淵町	
⑪	事業費の内訳	本工事費	65 億円
		測量及び試験費	26 億円
		用地費及び補償費	9 億円
		上記以外	4 億円
⑫	予算執行状況	90 億円	
	進捗状況	86 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	3 億円
		平成17年度	7 億円
		平成18年度	7 億円
		平成19年度	14 億円
		平成20年度	9 億円
⑭	完成予定年度	H21	
⑮	現時点での進捗段階	本体工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	100 %
		転流工	100 %
		本体工事	100 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	駒込ダム建設事業	
② 水系	堤川水系	
③ 建設予定地	右岸:青森県青森市	
	左岸:青森県青森市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成16年度	
⑦ 総事業費	約450億円	
⑧ 総貯水容量	7,800千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.7%、 発電0.3%	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	377 億円
	測量及び試験費	56 億円
	用地費及び補償費	7 億円
	上記以外	10 億円
⑫ 予算執行状況 進捗状況		70 億円
		16 %
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
	平成17年度	2 億円
	平成18年度	2 億円
	平成19年度	2 億円
	平成20年度	2 億円
⑭ 完成予定年度	H30	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	9 %
	関連工事	生活関連道路の工事を実施中
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	2 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	大和沢ダム建設事業	
② 水系	岩木川水系	
③ 建設予定地	右岸：青森県弘前市	
	左岸：青森県弘前市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	(未定)	
⑧ 総貯水容量	(未定)	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	(未定) 億円
	測量及び試験費	(未定) 億円
	用地費及び補償費	(未定) 億円
	上記以外	(未定) 億円
⑫ 予算執行状況	9 億円	
進捗状況	- %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.2 億円
	平成17年度	0.2 億円
	平成18年度	0.2 億円
	平成19年度	0.2 億円
	平成20年度	0.2 億円
⑭ 完成予定年度	未定	
⑮ 現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	未定
	移転済み戸数	0
	移転終了(完了)年度	未定

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	奥戸生活貯水池整備事業	
② 水系	奥戸川水系	
③ 建設予定地	右岸:青森県下北郡大間町	
	左岸:青森県下北郡大間町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	約90億円	
⑧ 総貯水容量	1,590千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持97.4%、水道用水2.6%	
⑩ 開発水量	2,200m3/日 大間町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	44 億円
	測量及び試験費	21 億円
	用地費及び補償費	21 億円
	上記以外	4 億円
⑫ 予算執行状況	19 億円	
進捗状況	21 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.4 億円
	平成17年度	0.4 億円
	平成18年度	0.4 億円
	平成19年度	0.4 億円
	平成20年度	0.5 億円
⑭ 完成予定年度	H28	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階における進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	家屋補償を実施中
	関連工事	生活関連道路の工事を実施中
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	6 戸
	移転済み戸数	1 戸
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	築川ダム建設事業	
② 水系	北上川水系	
③ 建設予定地	右岸:岩手県盛岡市	
	左岸:岩手県盛岡市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成18年度	
⑦ 総事業費	約530億円	
⑧ 総貯水容量	19,100千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持97.3%、水道用水2.7%	
⑩ 開発水量	5,000m3/日	
	盛岡市、矢巾町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	177 億円
	測量及び試験費	50 億円
	用地費及び補償費	293 億円
	上記以外	11 億円
⑫ 予算執行状況	259 億円	
進捗状況	49 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	11 億円
	平成17年度	12 億円
	平成18年度	5 億円
	平成19年度	5 億円
	平成20年度	8 億円
⑭ 完成予定年度	H28	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	89 %
	関連工事	50 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	34 戸
	移転済み戸数	34 戸
	移転終了(完了)年度	H15

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。



① 名称	津付ダム建設事業	
② 水系	気仙川水系	
③ 建設予定地	右岸:岩手県気仙郡住田町	
	左岸:岩手県気仙郡住田町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成17年度	
⑦ 総事業費	約141億円	
⑧ 総貯水容量	5,600千m3	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	55 億円
	測量及び試験費	26 億円
	用地費及び補償費	54 億円
	上記以外	6 億円
⑫ 予算執行状況	35 億円	
進捗状況	25 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.1 億円
	平成17年度	0.4 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	3 億円
	平成20年度	4 億円
⑭ 完成予定年度	H29	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	15 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	7 戸
	移転済み戸数	7 戸
	移転終了(完了)年度	H18

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	遠野第二生活貯水池整備事業	
② 水系	北上川水系	
③ 建設予定地	右岸:岩手県遠野市	
	左岸:岩手県遠野市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成13年度	
	変更1:平成19年度	
⑦ 総事業費	約135億円	
⑧ 総貯水容量	248千m3	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	73 億円
	測量及び試験費	28 億円
	用地費及び補償費	30 億円
	上記以外	4 億円
⑫ 予算執行状況	106 億円	
進捗状況	79 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	7 億円
	平成17年度	6 億円
	平成18年度	9 億円
	平成19年度	14 億円
	平成20年度	4 億円
⑭ 完成予定年度	H22	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	100 %
	転流工	無し
	本体工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	8 戸
	移転済み戸数	8 戸
	移転終了(完了)年度	H17

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	筒砂子ダム建設事業	
② 水系	鳴瀬川水系	
③ 建設予定地	右岸:宮城県加美郡加美町	
	左岸:宮城県加美郡加美町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	約800億円	
⑧ 総貯水容量	30,900千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.2%、かんがい0.8%	
⑩ 開発水量	8.075m <sup>3</sup> /s(最大)	
	農林水産省	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	489 億円
	測量及び試験費	44 億円
	用地費及び補償費	252 億円
	上記以外	14 億円
⑫ 予算執行状況	30 億円	
進捗状況	4 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.02 億円
	平成17年度	0.02 億円
	平成18年度	0 億円
	平成19年度	0.3 億円
	平成20年度	0.3 億円
⑭ 完成予定年度	未定(H45)	
⑮ 現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	長沼ダム建設事業	
②	水系	北上川水系	
③	建設予定地	右岸:宮城県登米市	
		左岸:宮城県登米市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、ダム湖活用	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成9年度	
		変更1:平成17年度	
⑦	総事業費	約780億円	
⑧	総貯水容量	31,800千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.8%、ダム湖活用0.2%	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	305 億円
		測量及び試験費	78 億円
		用地費及び補償費	379 億円
		上記以外	18 億円
⑫	予算執行状況	690 億円	
	進捗状況	88 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	17 億円
		平成17年度	18 億円
		平成18年度	20 億円
		平成19年度	18 億円
		平成20年度	19 億円
⑭	完成予定年度	H24	
⑮	現時点での進捗段階	本体工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	50 %
		転流工	無し
		本体工事	100 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	109 戸
		移転済み戸数	109 戸
		移転終了(完了)年度	H21

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	川内沢ダム建設事業	
② 水系	名取川水系	
③ 建設予定地	右岸:宮城県名取市	
	左岸:宮城県名取市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	(未定)	
⑧ 総貯水容量	(未定)	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	(未定) 億円
	測量及び試験費	(未定) 億円
	用地費及び補償費	(未定) 億円
	上記以外	(未定) 億円
⑫ 予算執行状況	3 億円	
進捗状況	- %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.1 億円
	平成17年度	0.1 億円
	平成18年度	0 億円
	平成19年度	0 億円
	平成20年度	0 億円
⑭ 完成予定年度	未定	
⑮ 現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	未定
	移転済み戸数	0
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	弘川生活貯水池整備事業	
②	水系	伊里前川水系	
③	建設予定地	右岸:宮城県本吉郡南三陸町	
		左岸:宮城県本吉郡南三陸町	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成9年度	
		変更1:平成18年度	
⑦	総事業費	約60億円	
⑧	総貯水容量	950千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持98.3%、水道用水1.7%	
⑩	開発水量	1,000m <sup>3</sup> /日	
		南三陸町	
⑪	事業費の内訳	本工事費	27 億円
		測量及び試験費	14 億円
		用地費及び補償費	16 億円
		上記以外	3 億円
⑫	予算執行状況	30 億円	
	進捗状況	51 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.5 億円
		平成17年度	1 億円
		平成18年度	1 億円
		平成19年度	3 億円
		平成20年度	2 億円
⑭	完成予定年度	H24	
⑮	現時点での進捗段階	本体工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	100 %
		転流工	無し
		本体工事	3 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	1 戸
		移転済み戸数	1 戸
		移転終了(完了)年度	H11

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	砂子沢ダム建設事業	
② 水系	米代川水系	
③ 建設予定地	右岸:秋田県鹿角郡小坂町	
	左岸:秋田県鹿角郡小坂町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成8年度	
	変更1:平成15年度	
⑦ 総事業費	約215億円	
⑧ 総貯水容量	8,650千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能維持97.5%、水道用水2.5%	
⑩ 開発水量	4,600m <sup>3</sup> /日	
	鹿角市、小坂町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	176 億円
	測量及び試験費	27 億円
	用地費及び補償費	5 億円
	上記以外	7 億円
⑫ 予算執行状況	194 億円	
進捗状況	90 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	4 億円
	平成17年度	8 億円
	平成18年度	21 億円
	平成19年度	18 億円
	平成20年度	13 億円
⑭ 完成予定年度	H22	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	100 %
	転流工	100 %
	本体工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	最上小国川ダム建設事業	
② 水系	最上川水系	
③ 建設予定地	右岸:山形県最上郡最上町	
	左岸:山形県最上郡最上町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	約70億円	
⑧ 総貯水容量	2,400千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	46 億円
	測量及び試験費	17 億円
	用地費及び補償費	4 億円
	上記以外	3 億円
⑫ 予算執行状況 進捗状況		12 億円
		17 %
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.2 億円
	平成17年度	0.4 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	1 億円
	平成20年度	1 億円
⑭ 完成予定年度	H27	
⑮ 現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。



①	名称	留山川生活貯水池整備事業	
②	水系	最上川水系	
③	建設予定地	右岸:山形県天童市	
		左岸:山形県天童市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成16年度	
		変更1:平成21年度	
⑦	総事業費	約69億円	
⑧	総貯水容量	1,120千m3	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	43 億円
		測量及び試験費	14 億円
		用地費及び補償費	8 億円
		上記以外	3 億円
⑫	予算執行状況	40 億円	
	進捗状況	58 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.4 億円
		平成17年度	2 億円
		平成18年度	2 億円
		平成19年度	2 億円
		平成20年度	5 億円
⑭	完成予定年度	H23	
⑮	現時点での進捗段階	本体工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	100 %
		転流工	無し
		本体工事	86 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものを。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	千五沢ダム再開発事業	
②	水系	阿武隈川水系	
③	建設予定地	右岸:福島県石川郡石川町	
		左岸:福島県石川郡石川町	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦	総事業費	約76億円	
⑧	総貯水容量	13,000千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	38 億円
		測量及び試験費	9 億円
		用地費及び補償費	0 億円
		上記以外	29 億円
⑫	予算執行状況	31 億円	
⑬	過去5年間に支出された予算	進捗状況	41 %
		平成16年度	0 億円
		平成17年度	0 億円
		平成18年度	0 億円
		平成19年度	0 億円
		平成20年度	0 億円
⑭	完成予定年度	H32	
⑮	現時点での進捗段階	既存施設の機能増強	
⑯	各段階における進捗率	-	
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	藤井川生活貯水池再開発事業	
② 水系	那珂川水系	
③ 建設予定地	右岸:茨城県東茨城郡城里町	
	左岸:茨城県東茨城郡城里町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成13年度	
	変更2:平成17年度	
⑦ 総事業費	約61億円	
⑧ 総貯水容量	4,462千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持95.2% 水道用水4.8%	
⑩ 開発水量	2,070m3/日 城里町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	50 億円
	測量及び試験費	5 億円
	用地費及び補償費	3 億円
	上記以外	4 億円
⑫ 予算執行状況		52 億円
進捗状況		85 %
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
	平成17年度	1 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	2 億円
	平成20年度	1 億円
⑭ 完成予定年度	H21	
⑮ 現時点での進捗段階	既存施設の機能増強	
⑯ 各段階における進捗率		-
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑯進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	倉淵ダム建設事業	
② 水系	利根川水系	
③ 建設予定地	右岸:群馬県高崎市	
	左岸:群馬県高崎市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成14年度	
⑦ 総事業費	約400億円	
⑧ 総貯水容量	11,600千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持87.9%、水道用水12.1%	
⑩ 開発水量	63,330m <sup>3</sup> /日 高崎市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	228億円
	測量及び試験費	41億円
	用地費及び補償費	122億円
	上記以外	10億円
⑫ 予算執行状況	162億円	
進捗状況	40%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.4億円
	平成17年度	0.1億円
	平成18年度	0億円
	平成19年度	0億円
	平成20年度	0億円
⑭ 完成予定年度	未定	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100%
	関連工事	76%
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	1戸
	移転済み戸数	1戸
	移転終了(完了)年度	H6

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものを。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	増田川ダム建設事業	
② 水系	利根川水系	
③ 建設予定地	右岸:群馬県安中市	
	左岸:群馬県安中市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	約378億円	
⑧ 総貯水容量	5,800千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持92.1%、水道用水7.9%	
⑩ 開発水量	17,000m <sup>3</sup> /日	
	安中市、富岡市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	272 億円
	測量及び試験費	36 億円
	用地費及び補償費	61 億円
	上記以外	9 億円
⑫ 予算執行状況 進捗状況	28 億円	
	7 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.4 億円
	平成17年度	0.2 億円
	平成18年度	0.2 億円
	平成19年度	0.4 億円
	平成20年度	0.2 億円
⑭ 完成予定年度	H25	
⑮ 現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	7 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	大多喜ダム建設事業	
② 水系	夷隅川水系	
③ 建設予定地	右岸:千葉県夷隅郡大多喜町	
	左岸:千葉県夷隅郡大多喜町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成15年度	
⑦ 総事業費	約145億円	
⑧ 総貯水容量	2,100千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持75.6%、水道用水24.4%	
⑩ 開発水量	14,800m <sup>3</sup> /日	
	南房総広域水道企業団	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	73億円
	測量及び試験費	22億円
	用地費及び補償費	44億円
	上記以外	6億円
⑫ 予算執行状況	67億円	
進捗状況	46%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.2億円
	平成17年度	0.2億円
	平成18年度	0.3億円
	平成19年度	0.1億円
	平成20年度	0億円
⑭ 完成予定年度	未定	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100%
	関連工事	58%
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	3戸
	移転済み戸数	3戸
	移転終了(完了)年度	H11

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものを。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	広神ダム建設事業	
② 水系	信濃川水系	
③ 建設予定地	右岸:新潟県魚沼市	
	左岸:新潟県魚沼市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成19年度	
⑦ 総事業費	約370億円	
⑧ 総貯水容量	12,400千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.7%、 発電0.3%	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	223 億円
	測量及び試験費	31 億円
	用地費及び補償費	108 億円
	上記以外	8 億円
⑫ 予算執行状況	344 億円	
	進捗状況	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	18 億円
	平成17年度	17 億円
	平成18年度	15 億円
	平成19年度	11 億円
	平成20年度	12 億円
⑭ 完成予定年度	H22	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	99 %
	転流工	100 %
	本体工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	23 戸
	移転済み戸数	23 戸
	移転終了(完了)年度	H4

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	奥胎内ダム建設事業	
②	水系	胎内川水系	
③	建設予定地	右岸:新潟県胎内市	
		左岸:新潟県胎内市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、発電	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成9年度	
		変更1:平成16年度	
⑦	総事業費	約330億円	
⑧	総貯水容量	10,000千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.4%、水道用水0.3%、発電0.3%	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	262 億円
		測量及び試験費	56 億円
		用地費及び補償費	3 億円
		上記以外	9 億円
⑫	予算執行状況	155 億円	
	進捗状況	47 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	4 億円
		平成17年度	2 億円
		平成18年度	2 億円
		平成19年度	3 億円
		平成20年度	2 億円
⑭	完成予定年度	H25	
⑮	現時点での進捗段階(奥胎内ダム)	本体工事	
	現時点での進捗段階(胎内川ダム再開発)	既存施設の機能増強	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率(奥胎内ダム)	調査・地元説明	-
		用地買収	16 %
		関連工事	生活関連道路の工事を実施中
		転流工	100 %
		本体工事	基礎掘削工を実施中
⑰	各段階におけるおおよその進捗率(胎内川ダム再開発)	-	
⑱	家屋移転(奥胎内ダム)	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-
	家屋移転(胎内川ダム再開発)	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑱家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。



①	名称	儀明川ダム建設事業	
②	水系	関川水系	
③	建設予定地	右岸:新潟県上越市	
		左岸:新潟県上越市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成9年度	
		変更1:平成19年度	
⑦	総事業費	約120億円	
⑧	総貯水容量	2,880千m3	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	60 億円
		測量及び試験費	21 億円
		用地費及び補償費	34 億円
		上記以外	5 億円
⑫	予算執行状況	72 億円	
	進捗状況	60 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
		平成17年度	0.1 億円
		平成18年度	0.2 億円
		平成19年度	1 億円
		平成20年度	0.2 億円
⑭	完成予定年度	H30年代	
⑮	現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	98 %
		関連工事	50 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	常浪川ダム建設事業	
② 水系	阿賀野川水系	
③ 建設予定地	右岸:新潟県東蒲原郡阿賀町	
	左岸:新潟県東蒲原郡阿賀町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
⑦ 総事業費	約364億円	
⑧ 総貯水容量	33,300千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	201 億円
	測量及び試験費	34 億円
	用地費及び補償費	121 億円
	上記以外	8 億円
⑫ 予算執行状況	118 億円	
進捗状況	32 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
	平成17年度	2 億円
	平成18年度	0.1 億円
	平成19年度	0.2 億円
	平成20年度	0.2 億円
⑭ 完成予定年度	H23	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	82 %
	関連工事	41 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	44 戸
	移転済み戸数	44 戸
	移転終了(完了)年度	H5

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	鶴川ダム建設事業	
②	水系	鶴川水系	
③	建設予定地	右岸:新潟県柏崎市	
		左岸:新潟県柏崎市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成9年度	
		変更1:平成15年度	
⑦	総事業費	約320億円	
⑧	総貯水容量	4,700千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	226 億円
		測量及び試験費	45 億円
		用地費及び補償費	42 億円
		上記以外	7 億円
⑫	予算執行状況	106 億円	
	進捗状況	33 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
		平成17年度	2 億円
		平成18年度	2 億円
		平成19年度	2 億円
		平成20年度	2 億円
⑭	完成予定年度	H29	
⑮	現時点での進捗段階	本体工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	73 %
		転流工	100 %
		本体工事	基礎掘削工を実施中
⑰	家屋移転	移転予定戸数	10 戸
		移転済み戸数	10 戸
		移転終了(完了)年度	H9

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	新保川生活貯水池再開発事業	
② 水系	国府川水系	
③ 建設予定地	右岸:新潟県佐渡市	
	左岸:新潟県佐渡市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成19年度	
⑦ 総事業費	約56億円	
⑧ 総貯水容量	1,150千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持98.8%、水道用水1.2%	
⑩ 開発水量	500m <sup>3</sup> /日	
	佐渡市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	33 億円
	測量及び試験費	14 億円
	用地費及び補償費	6 億円
	上記以外	3 億円
⑫ 予算執行状況 進捗状況	12 億円	
	22 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
	平成17年度	0.05 億円
	平成18年度	0.1 億円
	平成19年度	0.1 億円
	平成20年度	0.1 億円
⑭ 完成予定年度	H30年代	
⑮ 現時点での進捗段階	用地買収	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	67 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	晒川生活貯水池整備事業	
② 水系	信濃川水系	
③ 建設予定地	右岸:新潟県十日町市	
	左岸:新潟県十日町市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、消流雪用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成15年度	
⑦ 総事業費	約86億円	
⑧ 総貯水容量	490千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.9%、消流雪用水0.1%	
⑩ 開発水量	6,495m <sup>3</sup> /日 十日町市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	66 億円
	測量及び試験費	16 億円
	用地費及び補償費	2 億円
	上記以外	2 億円
⑫ 予算執行状況	26 億円	
進捗状況	31 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.4 億円
	平成17年度	0.1 億円
	平成18年度	0.05 億円
	平成19年度	0.1 億円
	平成20年度	0.1 億円
⑭ 完成予定年度	H26	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	97 %
	関連工事	生活関連道路の工事を実施中
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	浅川ダム建設事業	
② 水系	信濃川水系	
③ 建設予定地	右岸:長野県長野市	
	左岸:長野県長野市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成6年度	
	変更1:平成19年度	
⑦ 総事業費	約380億円	
⑧ 総貯水容量	1,100千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	196 億円
	測量及び試験費	35 億円
	用地費及び補償費	141 億円
	上記以外	9 億円
⑫ 予算執行状況	203 億円	
進捗状況	53 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0 億円
	平成17年度	0 億円
	平成18年度	0 億円
	平成19年度	0 億円
	平成20年度	1 億円
⑭ 完成予定年度	H28	
⑮ 現時点での進捗段階	転流工工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	93 %
	関連工事	100 %
	転流工	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	16 戸
	移転済み戸数	16 戸
	移転終了(完了)年度	H6

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	角間ダム建設事業	
② 水系	信濃川水系	
③ 建設予定地	右岸:長野県下高井郡山ノ内町	
	左岸:長野県下高井郡山ノ内町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	250億円	
⑧ 総貯水容量	2,610千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持90.3%、水道用水9.7%	
⑩ 開発水量	13,000m <sup>3</sup> /日	
	中野市、山ノ内町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	209億円
	測量及び試験費	18億円
	用地費及び補償費	9億円
	上記以外	14億円
⑫ 予算執行状況 進捗状況	14億円	
	6%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0億円
	平成17年度	0億円
	平成18年度	0億円
	平成19年度	0億円
	平成20年度	0億円
⑭ 完成予定年度	未定	
⑮ 現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	未定
	移転済み戸数	0
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	黒沢生活貯水池整備事業	
② 水系	信濃川水系	
③ 建設予定地	右岸:長野県安曇野市	
	左岸:長野県安曇野市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	150億円	
⑧ 総貯水容量	743千m3	
⑨ アロケーション	(未定)	
⑩ 開発水量	1,000m3/日 安曇野市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	118 億円
	測量及び試験費	10 億円
	用地費及び補償費	9 億円
	上記以外	13 億円
⑫ 予算執行状況	7 億円	
進捗状況	5 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0 億円
	平成17年度	0 億円
	平成18年度	0 億円
	平成19年度	0 億円
	平成20年度	0 億円
⑭ 完成予定年度	未定	
⑮ 現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	未定
	移転済み戸数	0
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。



①	名称	駒沢生活貯水池整備事業	
②	水系	天竜川水系	
③	建設予定地	右岸:長野県上伊那郡辰野町	
		左岸:長野県上伊那郡辰野町	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦	総事業費	約60億円	
⑧	総貯水容量	540千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	(未定)	
⑩	開発水量	500m <sup>3</sup> /日	
		辰野町	
⑪	事業費の内訳	本工事費	44 億円
		測量及び試験費	5 億円
		用地費及び補償費	7 億円
		上記以外	3 億円
⑫	予算執行状況	4 億円	
	進捗状況	6 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	0 億円
		平成17年度	0 億円
		平成18年度	0 億円
		平成19年度	0 億円
		平成20年度	0 億円
⑭	完成予定年度	未定	
⑮	現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰	家屋移転	移転予定戸数	未定
		移転済み戸数	0
		移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	松川生活貯水池再開発事業	
② 水系	天竜川水系	
③ 建設予定地	右岸:長野県飯田市	
	左岸:長野県飯田市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	流入土砂対策、貯水池の機能回復	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成14年度	
⑦ 総事業費	162億円	
⑧ 総貯水容量	7,450千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	138億円
	測量及び試験費	17億円
	用地費及び補償費	2億円
	上記以外	5億円
⑫ 予算執行状況	69億円	
進捗状況	42%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	3億円
	平成17年度	4億円
	平成18年度	2億円
	平成19年度	2億円
	平成20年度	2億円
⑭ 完成予定年度	H23	
⑮ 現時点での進捗段階	既存施設の機能増強	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	-	
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0戸
	移転済み戸数	0戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	舟川生活貯水池整備事業	
②	水系	小川水系	
③	建設予定地	右岸:富山県下新川郡入善町	
		左岸:富山県下新川郡入善町	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、 消流雪用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画) の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成17年度	
⑦	総事業費	約100億円	
⑧	総貯水容量	600千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.9%、 消雪用水0.1%	
⑩	開発水量	8,892m <sup>3</sup> ／日 入善町	
⑪	事業費の内訳	本工事費	69 億円
		測量及び試験費	15 億円
		用地費及び補償費	12 億円
		上記以外	3 億円
⑫	予算執行状況 進捗状況		29 億円
			29 %
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.4 億円
		平成17年度	1 億円
		平成18年度	1 億円
		平成19年度	4 億円
		平成20年度	4 億円
⑭	完成予定年度	H24	
⑮	現時点での進捗段階	本体工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	88 %
		転流工	無し
		本体工事	69 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	辰巳ダム建設事業	
② 水系	犀川水系	
③ 建設予定地	右岸:石川県金沢市	
	左岸:石川県金沢市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成2年度	
	変更1:平成17年度	
⑦ 総事業費	約240億円	
⑧ 総貯水容量	6,000千m3	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	128 億円
	測量及び試験費	40 億円
	用地費及び補償費	57 億円
	上記以外	14 億円
⑫ 予算執行状況	126 億円	
進捗状況	53 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	4 億円
	平成17年度	2 億円
	平成18年度	3 億円
	平成19年度	2 億円
	平成20年度	11 億円
⑭ 完成予定年度	H24	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	99 %
	関連工事	100 %
	転流工	無し
	本体工事	45 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	4 戸
	移転済み戸数	4 戸
	移転終了(完了)年度	H12

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	北河内ダム建設事業	
② 水系	町野川水系	
③ 建設予定地	右岸:石川県鳳珠郡能登町	
	左岸:石川県鳳珠郡能登町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成16年度	
⑦ 総事業費	約178億円	
⑧ 総貯水容量	2,860千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99%、水道用水1%	
⑩ 開発水量	410m <sup>3</sup> /日 能登町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	85 億円
	測量及び試験費	27 億円
	用地費及び補償費	59 億円
	上記以外	8 億円
⑫ 予算執行状況	151 億円	
進捗状況	85 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	5 億円
	平成17年度	6 億円
	平成18年度	6 億円
	平成19年度	13 億円
	平成20年度	13 億円
⑭ 完成予定年度	H22	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	81 %
	転流工	100 %
	本体工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	8 戸
	移転済み戸数	8 戸
	移転終了(完了)年度	H13

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	丹生川ダム建設事業	
② 水系	神通川水系	
③ 建設予定地	右岸:岐阜県高山市	
	左岸:岐阜県高山市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成3年度	
	変更1:平成16年度	
⑦ 総事業費	約280億円	
⑧ 総貯水容量	6,200千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.6%、水道用水0.4%	
⑩ 開発水量	350m <sup>3</sup> /日	
	高山市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	142 億円
	測量及び試験費	56 億円
	用地費及び補償費	75 億円
	上記以外	7 億円
⑫ 予算執行状況	194 億円	
進捗状況	69 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	3 億円
	平成17年度	5 億円
	平成18年度	7 億円
	平成19年度	8 億円
	平成20年度	10 億円
⑭ 完成予定年度	H24	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	100 %
	転流工	100 %
	本体工事	67 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	16 戸
	移転済み戸数	16 戸
	移転終了(完了)年度	H4

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	大島ダム建設事業	
② 水系	神通川水系	
③ 建設予定地	右岸:岐阜県高山市	
	左岸:岐阜県高山市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成14年度	
	変更1:平成18年度	
⑦ 総事業費	約168億円	
⑧ 総貯水容量	4720千m3	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	88 億円
	測量及び試験費	29 億円
	用地費及び補償費	47 億円
	上記以外	5 億円
⑫ 予算執行状況	25 億円	
進捗状況	15 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.2 億円
	平成17年度	0.1 億円
	平成18年度	0.1 億円
	平成19年度	0.2 億円
	平成20年度	0.1 億円
⑭ 完成予定年度	H30	
⑮ 現時点での進捗段階	用地買収	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	公共補償を実施中
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	5 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	内ヶ谷ダム建設事業	
② 水系	木曾川水系	
③ 建設予定地	右岸:岐阜県郡上市	
	左岸:岐阜県郡上市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:昭和63年度	
	変更1:平成18年度	
⑦ 総事業費	約260億円	
⑧ 総貯水容量	11,500千m3	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	157 億円
	測量及び試験費	46 億円
	用地費及び補償費	49 億円
	上記以外	7 億円
⑫ 予算執行状況	177 億円	
進捗状況	68 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
	平成17年度	2 億円
	平成18年度	2 億円
	平成19年度	2 億円
	平成20年度	1 億円
⑭ 完成予定年度	H31	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	95 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。



①	名称	水無瀬生活貯水池整備事業	
②	水系	木曾川水系	
③	建設予定地	右岸:岐阜県加茂郡川辺町	
		左岸:岐阜県加茂郡川辺町	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦	総事業費	約60億円	
⑧	総貯水容量	1,042千m3	
⑨	アロケーション	未定	
⑩	開発水量	緊急水補給(700千m3) 岐阜県	
⑪	事業費の内訳	本工事費	44 億円
		測量及び試験費	7 億円
		用地費及び補償費	7 億円
		上記以外	2 億円
⑫	予算執行状況	4 億円	
	進捗状況	6 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.2 億円
		平成17年度	0.1 億円
		平成18年度	0.4 億円
		平成19年度	0.5 億円
		平成20年度	0.1 億円
⑭	完成予定年度	未定	
⑮	現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	布沢川生活貯水池整備事業	
② 水系	興津川水系	
③ 建設予定地	右岸： 静岡県静岡市	
	左岸： 静岡県静岡市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初： 平成9年度	
	変更1： 平成18年度	
	変更2： 平成20年度	
⑦ 総事業費	約170億円	
⑧ 総貯水容量	816千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持97.8%、水道用水2.2%	
⑩ 開発水量	異常渇水時の水道水補給(110千m3) 静岡市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	130 億円
	測量及び試験費	20 億円
	用地費及び補償費	15 億円
	上記以外	5 億円
⑫ 予算執行状況	55 億円	
進捗状況	33 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
	平成17年度	0.5 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	0.3 億円
	平成20年度	0.2 億円
⑭ 完成予定年度	H28	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	22 %
	関連工事	生活関連道路の工事を実施中
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	鳥羽河内ダム建設事業	
②	水系	加茂川水系	
③	建設予定地	右岸:三重県鳥羽市	
		左岸:三重県鳥羽市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成18年度	
⑦	総事業費	約197億円	
⑧	総貯水容量	4,820千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	103 億円
		測量及び試験費	38 億円
		用地費及び補償費	50 億円
		上記以外	6 億円
⑫	予算執行状況 進捗状況	26 億円	
		13 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.5 億円
		平成17年度	1 億円
		平成18年度	2 億円
		平成19年度	1 億円
		平成20年度	1 億円
⑭	完成予定年度	H30	
⑮	現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰	家屋移転	移転予定戸数	2 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	河内川ダム建設事業	
② 水系	北川水系	
③ 建設予定地	右岸: 福井県三方上中郡若狭町	
	左岸: 福井県三方上中郡若狭町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい、水道用水、工業用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初: 平成5年度	
	変更1: 平成21年度	
⑦ 総事業費	約415億円	
⑧ 総貯水容量	8,000千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持89.65%、かんがい1.45%、水道用水8.00%、工業用水0.90%	
⑩ 開発水量	(かんがい)最大0.36m <sup>3</sup> /s	
	若狭町	
	(水道)15,552m <sup>3</sup> /日 小浜市、若狭町	
	(工水)1,728m <sup>3</sup> /日 若狭町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	193 億円
	測量及び試験費	43 億円
	用地費及び補償費	171 億円
	上記以外	8 億円
⑫ 予算執行状況	171 億円	
進捗状況	41 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
	平成17年度	2 億円
	平成18年度	2 億円
	平成19年度	2 億円
	平成20年度	3 億円
⑭ 完成予定年度	H29	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	52 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	35 戸
	移転済み戸数	35 戸
	移転終了(完了)年度	H7

注1): 「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2): 「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3): 「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものを。

注4): 「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5): 「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6): 「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収: 水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事: 付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7): 「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	吉野瀬川ダム建設事業	
② 水系	九頭竜川水系	
③ 建設予定地	右岸:福井県越前市	
	左岸:福井県越前市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成4年度	
	変更1:平成21年度	
⑦ 総事業費	約325億円	
⑧ 総貯水容量	7,800千m3	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	95 億円
	測量及び試験費	48 億円
	用地費及び補償費	172 億円
	上記以外	11 億円
⑫ 予算執行状況	163 億円	
進捗状況	50 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	14 億円
	平成17年度	18 億円
	平成18年度	12 億円
	平成19年度	13 億円
	平成20年度	9 億円
⑭ 完成予定年度	H30	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	95 %
	関連工事	29 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	37 戸
	移転済み戸数	37 戸
	移転終了(完了)年度	H17

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものを。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	大津呂生活貯水池整備事業	
② 水系	佐分利川水系	
③ 建設予定地	右岸: 福井県大飯郡おおい町	
	左岸: 福井県大飯郡おおい町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初: 平成9年度	
	変更1: 平成18年度	
⑦ 総事業費	約108億円	
⑧ 総貯水容量	485千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持水96.8%、水道用水3.2%	
⑩ 開発水量	345m3/日 おおい町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	74 億円
	測量及び試験費	23 億円
	用地費及び補償費	7 億円
	上記以外	4 億円
⑫ 予算執行状況	46 億円	
進捗状況	42 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
	平成17年度	1 億円
	平成18年度	2 億円
	平成19年度	2 億円
	平成20年度	6 億円
⑭ 完成予定年度	H23	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	100 %
	転流工	無し
	本体工事	49 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1): 「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2): 「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3): 「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものを。

注4): 「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5): 「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6): 「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収: 水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事: 付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工: 転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事: 堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7): 「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	北川ダム建設事業	
② 水系	淀川水系	
③ 建設予定地	右岸:滋賀県高島市	
	左岸:滋賀県高島市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
⑦ 総事業費	約430億円	
⑧ 総貯水容量	第一ダム10,400千m <sup>3</sup> 第二ダム9,940千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	255 億円
	測量及び試験費	47 億円
	用地費及び補償費	114 億円
	上記以外	14 億円
⑫ 予算執行状況	113 億円	
進捗状況	26 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
	平成17年度	1 億円
	平成18年度	5 億円
	平成19年度	1 億円
	平成20年度	0.4 億円
⑭ 完成予定年度	H25	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	98 %
	関連工事	生活関連道路の工事を実施中
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	3 戸
	移転済み戸数	3 戸
	移転終了(完了)年度	H12

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	畑川ダム建設事業	
② 水系	由良川水系	
③ 建設予定地	右岸:京都府船井郡京丹波町	
	左岸:京都府船井郡京丹波町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成19年度	
⑦ 総事業費	約77億円	
⑧ 総貯水容量	1,960千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持 81.5%、 水道用水 18.5%	
⑩ 開発水量	5,000m <sup>3</sup> /日	
	京丹波町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	37 億円
	測量及び試験費	22 億円
	用地費及び補償費	15 億円
	上記以外	3 億円
⑫ 予算執行状況 進捗状況	37 億円	
	48 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
	平成17年度	0.4 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	1 億円
	平成20年度	1 億円
⑭ 完成予定年度	H24	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	76 %
	転流工	74 %
	本体工事	基礎掘削工を実施中
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。



① 名称	安威川ダム建設事業	
② 水系	淀川水系	
③ 建設予定地	右岸:大阪府茨木市	
	左岸:大阪府茨木市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成19年度	
⑦ 総事業費	約1,314億円	
⑧ 総貯水容量	18,000千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持86.5%、水道用水13.5%	
⑩ 開発水量	11,000m <sup>3</sup> /日	
	大阪府営水道	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	446 億円
	測量及び試験費	87 億円
	用地費及び補償費	764 億円
	上記以外	17 億円
⑫ 予算執行状況	733 億円	
	進捗状況	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	29 億円
	平成17年度	25 億円
	平成18年度	32 億円
	平成19年度	42 億円
	平成20年度	39 億円
⑭ 完成予定年度	H28	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	99 %
	関連工事	75 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	69 戸
	移転済み戸数	67 戸
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものを。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	槇尾川ダム建設事業	
② 水系	大津川水系	
③ 建設予定地	右岸:大阪府和泉市	
	左岸:大阪府和泉市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成13年度	
	変更1:平成19年度	
⑦ 総事業費	約128億円	
⑧ 総貯水容量	1,400千m3	
⑨ アロケーション	—	
⑩ 開発水量	—	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	42 億円
	測量及び試験費	19 億円
	用地費及び補償費	62 億円
	上記以外	5 億円
⑫ 予算執行状況	47 億円	
	進捗状況	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
	平成17年度	3 億円
	平成18年度	3 億円
	平成19年度	4 億円
	平成20年度	5 億円
⑭ 完成予定年度	H27	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	94 %
	関連工事	43 %
	転流工	無し
	本体工事	基礎掘削工を実施中
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	28 戸
	移転済み戸数	5 戸
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	金出地ダム建設事業	
② 水系	千種川水系	
③ 建設予定地	右岸:兵庫県赤穂郡上郡町	
	左岸:兵庫県赤穂郡上郡町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節 流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成5年度	
⑦ 総事業費	170億円	
⑧ 総貯水容量	4,700千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	—	
⑩ 開発水量	—	
	—	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	89 億円
	測量及び試験費	30 億円
	用地費及び補償費	46 億円
	上記以外	5 億円
⑫ 予算執行状況	79 億円	
進捗状況	46 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.1 億円
	平成17年度	0.4 億円
	平成18年度	2 億円
	平成19年度	1 億円
	平成20年度	1 億円
⑭ 完成予定年度	H24	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	63 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	武庫川ダム建設事業	
② 水系	武庫川水系	
③ 建設予定地	右岸:兵庫県西宮市	
	左岸:兵庫県宝塚市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、ダム湖活用	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	約290億円	
⑧ 総貯水容量	9,500千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節 99.8%、ダム湖活用 0.2%	
⑩ 開発水量	—	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	157 億円
	測量及び試験費	22 億円
	用地費及び補償費	103 億円
	上記以外	8 億円
⑫ 予算執行状況 進捗状況		15 億円
		5 %
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.05 億円
	平成17年度	0 億円
	平成18年度	0 億円
	平成19年度	0 億円
	平成20年度	0 億円
⑭ 完成予定年度	未定	
⑮ 現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	未定
	移転済み戸数	0
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	与布土生活貯水池整備事業	
② 水系	円山川水系	
③ 建設予定地	右岸:兵庫県朝来市	
	左岸:兵庫県朝来市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節 流水の正常な機能の維持 水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成16年度	
⑦ 総事業費	約120億円	
⑧ 総貯水容量	1,080千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節 97.7% 水道用水 2.3%	
⑩ 開発水量	1,450m <sup>3</sup> /日 朝来市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	62 億円
	測量及び試験費	25 億円
	用地費及び補償費	28 億円
	上記以外	4 億円
⑫ 予算執行状況	50 億円	
進捗状況	42 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
	平成17年度	4 億円
	平成18年度	4 億円
	平成19年度	3 億円
	平成20年度	3 億円
⑭ 完成予定年度	H25	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	56 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	西紀生活貯水池整備事業	
② 水系	由良川水系	
③ 建設予定地	右岸:兵庫県篠山市	
	左岸:兵庫県篠山市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節 流水の正常な機能の維持 水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成16年度	
⑦ 総事業費	約54億円	
⑧ 総貯水容量	383千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節 95.4% 水道用水 4.6%	
⑩ 開発水量	1,000m <sup>3</sup> /日 篠山市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	28 億円
	測量及び試験費	9 億円
	用地費及び補償費	14 億円
	上記以外	3 億円
⑫ 予算執行状況	21 億円	
進捗状況	39 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
	平成17年度	1 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	1 億円
	平成20年度	0.4 億円
⑭ 完成予定年度	H25	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	88 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	1 戸
	移転済み戸数	1 戸
	移転終了(完了)年度	H15

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	大門生活貯水池整備事業	
② 水系	大和川水系	
③ 建設予定地	右岸:奈良県生駒郡三郷町	
	左岸:奈良県生駒郡三郷町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成14年度	
	変更2:平成19年度	
⑦ 総事業費	約58億円	
⑧ 総貯水容量	177千m3	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	31 億円
	測量及び試験費	16 億円
	用地費及び補償費	8 億円
	上記以外	3 億円
⑫ 予算執行状況	23 億円	
進捗状況	40 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
	平成17年度	1 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	1 億円
	平成20年度	2 億円
⑭ 完成予定年度	H24	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	工事用道路の工事を実施中
	転流工	無し
	本体工事	基礎掘削工を実施中
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	1 戸
	移転済み戸数	1 戸
	移転終了(完了)年度	H21

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	切目川ダム建設事業	
② 水系	切目川水系	
③ 建設予定地	右岸:和歌山県日高郡印南町	
	左岸:和歌山県日高郡印南町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成15年度	
⑦ 総事業費	約159億円	
⑧ 総貯水容量	3,960千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99%、水道用水1%	
⑩ 開発水量	1,000m <sup>3</sup> /日 印南町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	54億円
	測量及び試験費	24億円
	用地費及び補償費	73億円
	上記以外	8億円
⑫ 予算執行状況	54億円	
進捗状況	34%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1億円
	平成17年度	2億円
	平成18年度	3億円
	平成19年度	4億円
	平成20年度	7億円
⑭ 完成予定年度	H26	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100%
	関連工事	53%
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	15戸
	移転済み戸数	15戸
	移転終了(完了)年度	H19

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。



①	名称	浜田川総合開発事業	
②	水系	浜田川水系	
③	建設予定地	右岸:島根県浜田市	
		左岸:島根県浜田市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成9年度	
		変更1:平成21年度	
⑦	総事業費	約389億円	
⑧	総貯水容量	(第一浜田ダム)13,470千m <sup>3</sup> (浜田ダム再開発)4,125千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	260 億円
		測量及び試験費	39 億円
		用地費及び補償費	83 億円
		上記以外	8 億円
⑫	予算執行状況	139 億円	
	進捗状況	36 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
		平成17年度	3 億円
		平成18年度	4 億円
		平成19年度	9 億円
		平成20年度	10 億円
⑭	完成予定年度	H28	
⑮	現時点での進捗段階(第二浜田ダム)	本体工事	
	現時点での進捗段階(浜田ダム再開発)	既存施設の機能増強	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率(第二浜田ダム)	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	24 %
		転流工	100 %
		本体工事	基礎掘削工を実施中
	各段階におけるおおよその進捗率(浜田ダム再開発)	-	
⑰	家屋移転(第二浜田ダム)	移転予定戸数	30 戸
		移転済み戸数	30 戸
		移転終了(完了)年度	H19
	家屋移転(浜田ダム再開発)	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	波積ダム建設事業	
② 水系	江の川水系	
③ 建設予定地	右岸:島根県江津市	
	左岸:島根県江津市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成13年度	
⑦ 総事業費	約169億円	
⑧ 総貯水容量	3,810千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	85億円
	測量及び試験費	21億円
	用地費及び補償費	57億円
	上記以外	6億円
⑫ 予算執行状況 進捗状況		43億円
		26%
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1億円
	平成17年度	1億円
	平成18年度	6億円
	平成19年度	4億円
	平成20年度	2億円
⑭ 完成予定年度	H31	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100%
	関連工事	12%
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	11戸
	移転済み戸数	11戸
	移転終了(完了)年度	H18

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	矢原川ダム建設事業	
②	水系	三隅川水系	
③	建設予定地	右岸:島根県浜田市	
		左岸:島根県浜田市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦	総事業費	(未定)	
⑧	総貯水容量	(未定)	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	(未定) 億円
		測量及び試験費	(未定) 億円
		用地費及び補償費	(未定) 億円
		上記以外	(未定) 億円
⑫	予算執行状況		10 億円
	進捗状況		- %
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.2 億円
		平成17年度	0.3 億円
		平成18年度	0.2 億円
		平成19年度	0.2 億円
		平成20年度	0.3 億円
⑭	完成予定年度	未定	
⑮	現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰	家屋移転	移転予定戸数	未定
		移転済み戸数	0
		移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	大谷川生活貯水池整備事業	
② 水系	高梁川水系	
③ 建設予定地	右岸:岡山県新見市	
	左岸:岡山県新見市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成21年度	
⑦ 総事業費	約61億円	
⑧ 総貯水容量	422千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持 95.2%、 水道用水 4.8%	
⑩ 開発水量	1,155m3/日 新見市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	39億円
	測量及び試験費	12億円
	用地費及び補償費	7億円
	上記以外	3億円
⑫ 予算執行状況	10億円	
進捗状況	17%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.2億円
	平成17年度	1億円
	平成18年度	1億円
	平成19年度	2億円
	平成20年度	1億円
⑭ 完成予定年度	H26	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	51%
	関連工事	13%
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	1戸
	移転済み戸数	1戸
	移転終了(完了)年度	H19

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	仁賀ダム建設事業	
② 水系	賀茂川水系	
③ 建設予定地	右岸: 広島県竹原市	
	左岸: 広島県竹原市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初: 平成4年度	
	変更1: 平成15年度	
⑦ 総事業費	約240億円	
⑧ 総貯水容量	2,710千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	—	
⑩ 開発水量	—	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	85億円
	測量及び試験費	33億円
	用地費及び補償費	115億円
	上記以外	8億円
⑫ 予算執行状況	165億円	
進捗状況	69%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2億円
	平成17年度	2億円
	平成18年度	4億円
	平成19年度	5億円
	平成20年度	6億円
⑭ 完成予定年度	H23	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100%
	関連工事	93%
	転流工	無し
	本体工事	100%
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	33戸
	移転済み戸数	33戸
	移転終了(完了)年度	H10

注1): 「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2): 「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3): 「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものを。

注4): 「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5): 「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6): 「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収: 水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事: 付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工: 転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事: 堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7): 「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	野間川生活貯水池整備事業	
② 水系	芦田川水系	
③ 建設予定地	右岸: 広島県尾道市	
	左岸: 広島県三原市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節, 流水の正常な機能の維持, 水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初: 平成16年度	
⑦ 総事業費	約74億円	
⑧ 総貯水容量	560千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持96.5%、水道用水3.5%	
⑩ 開発水量	1,750m <sup>3</sup> /日 三原市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	40億円
	測量及び試験費	15億円
	用地費及び補償費	15億円
	上記以外	4億円
⑫ 予算執行状況	26億円	
進捗状況	35%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1億円
	平成17年度	1億円
	平成18年度	3億円
	平成19年度	3億円
	平成20年度	2億円
⑭ 完成予定年度	H24	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100%
	関連工事	100%
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0戸
	移転済み戸数	0戸
	移転終了(完了)年度	-

注1): 「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2): 「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3): 「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4): 「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5): 「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6): 「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収: 水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事: 付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7): 「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	庄原生活貯水池整備事業	
② 水系	江の川水系	
③ 建設予定地	右岸: 広島県庄原市	
	左岸: 広島県庄原市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節, 流水の正常な機能の維持, 水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初: 平成19年度	
⑦ 総事業費	約60億円	
⑧ 総貯水容量	701千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持90%、水道用水10%	
⑩ 開発水量	4, 150m3/日 庄原市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	31 億円
	測量及び試験費	12 億円
	用地費及び補償費	14 億円
	上記以外	3 億円
⑫ 予算執行状況	17 億円	
進捗状況	28 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
	平成17年度	1 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	1 億円
	平成20年度	1 億円
⑭ 完成予定年度	H24	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	25 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1): 「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2): 「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3): 「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4): 「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5): 「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6): 「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収: 水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事: 付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7): 「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。



① 名称	平瀬ダム建設事業	
② 水系	錦川水系	
③ 建設予定地	右岸:山口県岩国市	
	左岸:山口県岩国市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、発電	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成5年度	
⑦ 総事業費	約740億円	
⑧ 総貯水容量	29,500千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.6%、水道用水0.1%、発電0.3%	
⑩ 開発水量	400m <sup>3</sup> /日 岩国市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	211億円
	測量及び試験費	94億円
	用地費及び補償費	420億円
	上記以外	15億円
⑫ 予算執行状況	479億円	
進捗状況	65%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	6億円
	平成17年度	10億円
	平成18年度	7億円
	平成19年度	7億円
	平成20年度	11億円
⑭ 完成予定年度	H26	
⑮ 現時点での進捗段階	転流工工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100%
	関連工事	65%
	転流工	100%
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	42戸
	移転済み戸数	42戸
	移転終了(完了)年度	H9

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	大河内川ダム建設事業	
② 水系	深川川水系	
③ 建設予定地	右岸:山口県長門市	
	左岸:山口県長門市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成5年度	
	変更1:平成16年度	
⑦ 総事業費	約165億円	
⑧ 総貯水容量	4,330千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持85.3%、水道用水14.7%	
⑩ 開発水量	8,000m <sup>3</sup> /日 長門市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	73 億円
	測量及び試験費	29 億円
	用地費及び補償費	56 億円
	上記以外	7 億円
⑫ 予算執行状況	84 億円	
進捗状況	51 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
	平成17年度	1 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	1 億円
	平成20年度	1 億円
⑭ 完成予定年度	H23	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	48 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	3 戸
	移転済み戸数	3 戸
	移転終了(完了)年度	H7

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものを。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	木屋川ダム再開発事業	
②	水系	木屋川水系	
③	建設予定地	右岸:山口県下関市	
		左岸:山口県下関市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦	総事業費	(未定)	
⑧	総貯水容量	(未定)	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	(未定) 億円
		測量及び試験費	(未定) 億円
		用地費及び補償費	(未定) 億円
		上記以外	(未定) 億円
⑫	予算執行状況	0 億円	
⑬	過去5年間に支出された予算	進捗状況	- %
		平成16年度	-
		平成17年度	-
		平成18年度	-
		平成19年度	-
		平成20年度	-
⑭	完成予定年度	未定	
⑮	現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰	家屋移転	移転予定戸数	未定
		移転済み戸数	0
		移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	黒杭川上流生活貯水池整備事業	
②	水系	柳井川水系	
③	建設予定地	右岸:山口県柳井市	
		左岸:山口県柳井市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成9年度	
		変更1:平成20年度	
⑦	総事業費	約100億円	
⑧	総貯水容量	450千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	49億円
		測量及び試験費	18億円
		用地費及び補償費	29億円
		上記以外	4億円
⑫	予算執行状況	74億円	
	進捗状況	74%	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	1億円
		平成17年度	1億円
		平成18年度	2億円
		平成19年度	5億円
		平成20年度	10億円
⑭	完成予定年度	H23	
⑮	現時点での進捗段階(黒杭川上流生活貯水池)	本体工事	
	現時点での進捗段階(黒杭川ダム再開発)	既存施設の機能増強	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率(黒杭川上流生活貯水池)	調査・地元説明	-
		用地買収	100%
		関連工事	100%
		転流工	無し
		本体工事	100%
	各段階におけるおおよその進捗率(黒杭川ダム再開発)	-	
⑰	家屋移転(黒杭川上流生活貯水池)	移転予定戸数	1戸
		移転済み戸数	1戸
		移転終了(完了)年度	H9
	家屋移転(黒杭川ダム再開発)	移転予定戸数	0戸
		移転済み戸数	0戸
		移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7) : 「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	柴川生活貯水池整備事業	
② 水系	吉野川水系	
③ 建設予定地	右岸:徳島県三好市	
	左岸:徳島県三好市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成15年度	
⑦ 総事業費	約80億円	
⑧ 総貯水容量	252千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持99.5%、水道用水0.5%	
⑩ 開発水量	200m <sup>3</sup> /日	
	三好市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	50 億円
	測量及び試験費	13 億円
	用地費及び補償費	13 億円
	上記以外	4 億円
⑫ 予算執行状況	35 億円	
進捗状況	44 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.5 億円
	平成17年度	0.4 億円
	平成18年度	2 億円
	平成19年度	1 億円
	平成20年度	1 億円
⑭ 完成予定年度	H23	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	67 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	椋川ダム建設事業	
②	水系	香東川水系	
③	建設予定地	右岸:香川県高松市	
		左岸:香川県高松市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、異常渇水時等の緊急水の補給	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成15年度	
		変更1:平成21年度	
⑦	総事業費	約480億円	
⑧	総貯水容量	10,560千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持83.9%、水道用水16.1%	
⑩	開発水量	9,000m <sup>3</sup> /日 高松市	
⑪	事業費の内訳	本工事費	357 億円
		測量及び試験費	28 億円
		用地費及び補償費	86 億円
		上記以外	9 億円
⑫	予算執行状況	60 億円	
	進捗状況	12 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	3 億円
		平成17年度	3 億円
		平成18年度	4 億円
		平成19年度	3 億円
		平成20年度	1 億円
⑭	完成予定年度	H29	
⑮	現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	95 %
		関連工事	20 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	20 戸
		移転済み戸数	19 戸
		移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	五名ダム再開発事業	
②	水系	湊川水系	
③	建設予定地	右岸:香川県東かがわ市	
		左岸:香川県東かがわ市	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦	総事業費	約230億円	
⑧	総貯水容量	6,750千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	(未定)	
⑩	開発水量	(未定)	
		東かがわ市	
⑪	事業費の内訳	本工事費	128 億円
		測量及び試験費	13 億円
		用地費及び補償費	84 億円
		上記以外	6 億円
⑫	予算執行状況 進捗状況	12 億円	
		5 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
		平成17年度	1 億円
		平成18年度	1 億円
		平成19年度	0.02 億円
		平成20年度	0.2 億円
⑭	完成予定年度	未定	
⑮	現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明 -	
⑰	家屋移転	移転予定戸数	14 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。



① 名称	内海ダム再開発事業	
② 水系	別当川水系	
③ 建設予定地	右岸:香川県小豆郡小豆島町	
	左岸:香川県小豆郡小豆島町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成16年度	
	変更1:平成21年度	
⑦ 総事業費	約185億円	
⑧ 総貯水容量	1,060千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持95.2%、水道用水4.8%	
⑩ 開発水量	1,000m <sup>3</sup> /日	
	小豆島町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	134 億円
	測量及び試験費	15 億円
	用地費及び補償費	31 億円
	上記以外	6 億円
⑫ 予算執行状況	43 億円	
	進捗状況	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
	平成17年度	3 億円
	平成18年度	2 億円
	平成19年度	2 億円
	平成20年度	4 億円
⑭ 完成予定年度	H25	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	6 戸
	移転済み戸数	6 戸
	移転終了(完了)年度	H18

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものを。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	綾川ダム群連携事業	
② 水系	綾川水系	
③ 建設予定地	(長柄ダム)右岸:香川県綾歌郡綾川町	
	(長柄ダム)左岸:香川県綾歌郡綾川町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	約104億円	
⑧ 総貯水容量	(長柄ダム)9,750千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	52 億円
	測量及び試験費	14 億円
	用地費及び補償費	33 億円
	上記以外	4 億円
⑫ 予算執行状況	12 億円	
進捗状況	12 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.4 億円
	平成17年度	1 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	0.03 億円
	平成20年度	0.2 億円
⑭ 完成予定年度	H38	
⑮ 現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	5 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	和食ダム建設事業	
②	水系	和食川水系	
③	建設予定地	右岸:高知県安芸郡芸西村	
		左岸:高知県安芸郡芸西村	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成18年度	
⑦	総事業費	約128億円	
⑧	総貯水容量	730千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持95.2%、水道用水4.8%	
⑩	開発水量	1,000m3/日 芸西村	
⑪	事業費の内訳	本工事費	86 億円
		測量及び試験費	25 億円
		用地費及び補償費	13 億円
		上記以外	4 億円
⑫	予算執行状況	17 億円	
	進捗状況	13 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	1 億円
		平成17年度	1 億円
		平成18年度	1 億円
		平成19年度	0.3 億円
		平成20年度	0.4 億円
⑭	完成予定年度	H20年代半ば	
⑮	現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	27 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	1 戸
		移転済み戸数	1 戸
		移転終了(完了)年度	H17

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	春遠生活貯水池整備事業	
② 水系	貝ノ川水系	
③ 建設予定地	右岸:高知県幡多郡大月町	
	左岸:高知県幡多郡大月町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	約66億円	
⑧ 総貯水容量	770千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	(未定)	
⑩ 開発水量	660m <sup>3</sup> /日 大月町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	40 億円
	測量及び試験費	13 億円
	用地費及び補償費	11 億円
	上記以外	3 億円
⑫ 予算執行状況 進捗状況	18 億円	
	27 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.3 億円
	平成17年度	0.3 億円
	平成18年度	0.3 億円
	平成19年度	0.3 億円
	平成20年度	0.3 億円
⑭ 完成予定年度	H27	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	87 %
	関連工事	82 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	五ヶ山ダム建設事業	
② 水系	那珂川水系	
③ 建設予定地	右岸:福岡県筑紫郡那珂川町	
	左岸:福岡県筑紫郡那珂川町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、異常渇水時等の緊急水補給	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成20年度	
⑦ 総事業費	約1,050億円	
⑧ 総貯水容量	40,200千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持55.9%、水道用水・異常渇水時等の緊急水補給44.1%	
⑩ 開発水量	(水道)10,000m <sup>3</sup> /日	
	福岡地区水道企業団	
	異常渇水時の水道水補給(13,900千m <sup>3</sup> ) 福岡市、春日那珂川水道企業団、福岡地区水道企業団	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	426億円
	測量及び試験費	93億円
	用地費及び補償費	512億円
	上記以外	18億円
⑫ 予算執行状況 進捗状況	426億円	
	41%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	9億円
	平成17年度	19億円
	平成18年度	20億円
	平成19年度	25億円
	平成20年度	25億円
⑭ 完成予定年度	H29	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	99%
	関連工事	37%
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	75戸
	移転済み戸数	74戸
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	伊良原ダム建設事業	
② 水系	祓川水系	
③ 建設予定地	右岸:福岡県京都郡みやこ町	
	左岸:福岡県京都郡みやこ町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成15年度	
	変更1:平成21年度	
⑦ 総事業費	約678億円	
⑧ 総貯水容量	28,700千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持73.2%、水道用水26.8%	
⑩ 開発水量	37,000m <sup>3</sup> /日	
	田川地区水道企業団、京築地区水道企業団	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	257億円
	測量及び試験費	72億円
	用地費及び補償費	336億円
	上記以外	13億円
⑫ 予算執行状況	164億円	
進捗状況	24%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	1億円
	平成17年度	3億円
	平成18年度	4億円
	平成19年度	14億円
	平成20年度	18億円
⑭ 完成予定年度	H29	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	97%
	関連工事	19%
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	132戸
	移転済み戸数	121戸
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	藤波ダム建設事業	
② 水系	筑後川水系	
③ 建設予定地	右岸:福岡県うきは市	
	左岸:福岡県うきは市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成15年度	
⑦ 総事業費	約345億円	
⑧ 総貯水容量	2,950千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	195 億円
	測量及び試験費	43 億円
	用地費及び補償費	96 億円
	上記以外	11 億円
⑫ 予算執行状況	313 億円	
進捗状況	91 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	14 億円
	平成17年度	15 億円
	平成18年度	15 億円
	平成19年度	15 億円
	平成20年度	12 億円
⑭ 完成予定年度	H21	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	100 %
	転流工	100 %
	本体工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	24 戸
	移転済み戸数	24 戸
	移転終了(完了)年度	H9

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	井手口川ダム建設事業	
② 水系	松浦川水系	
③ 建設予定地	右岸:佐賀県伊万里市	
	左岸:佐賀県伊万里市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成17年度	
⑦ 総事業費	約171億円	
⑧ 総貯水容量	2,180千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持90.4%、水道用水9.6%	
⑩ 開発水量	4,000m <sup>3</sup> /日 伊万里市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	98億円
	測量及び試験費	27億円
	用地費及び補償費	41億円
	上記以外	5億円
⑫ 予算執行状況	80億円	
進捗状況	47%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2億円
	平成17年度	2億円
	平成18年度	4億円
	平成19年度	6億円
	平成20年度	12億円
⑭ 完成予定年度	H23	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100%
	関連工事	89%
	転流工	無し
	本体工事	94%
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	12戸
	移転済み戸数	12戸
	移転終了(完了)年度	H18

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。



① 名称	有田川総合開発事業	
② 水系	有田川水系	
③ 建設予定地	右岸: 佐賀県西松浦郡有田町	
	左岸: 佐賀県西松浦郡有田町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定中	
⑦ 総事業費	(未定)	
⑧ 総貯水容量	(未定)	
⑨ アロケーション	(未定)	
⑩ 開発水量	(未定) 有田町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	(未定) 億円
	測量及び試験費	(未定) 億円
	用地費及び補償費	(未定) 億円
	上記以外	(未定) 億円
⑫ 予算執行状況	6 億円	
進捗状況	— %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.1 億円
	平成17年度	0 億円
	平成18年度	0 億円
	平成19年度	0 億円
	平成20年度	0 億円
⑭ 完成予定年度	未定	
⑮ 現時点での進捗段階	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	—
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	未定
	移転済み戸数	0
	移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	石木ダム建設事業	
②	水系	川棚川水系	
③	建設予定地	右岸:長崎県東彼杵郡川棚町	
		左岸:長崎県東彼杵郡川棚町	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:昭和50年度	
		変更1:平成15年度	
		変更2:平成19年度	
		変更3:平成20年度	
⑦	総事業費	約285億円	
⑧	総貯水容量	5,480千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持65.0%、水道用水35.0%	
⑩	開発水量	40,000m3/日	
		佐世保市	
⑪	事業費の内訳	本工事費	86億円
		測量及び試験費	31億円
		用地費及び補償費	160億円
		上記以外	9億円
⑫	予算執行状況	132億円	
	進捗状況	46%	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	5億円
		平成17年度	3億円
		平成18年度	1億円
		平成19年度	2億円
		平成20年度	1億円
⑭	完成予定年度	H28	
⑮	現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	85%
		関連工事	代替地造成済
⑰	家屋移転	移転予定戸数	67戸
		移転済み戸数	59戸
		移転終了(完了)年度	未定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	長崎水害緊急ダム建設事業	
② 水系	(本河内ダム)中島川水系 (西山ダム)中島川水系 (浦上ダム)浦上川水系 (中尾ダム)八郎川水系	
③ 建設予定地	右岸:長崎県長崎市 左岸:長崎県長崎市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済 当初:昭和62年度 変更1:平成15年度	
⑦ 総事業費	約775億円	
⑧ 総貯水容量	(本河内ダム)1,103千m3 (西山ダム)1,580千m3 (浦上ダム)1,895千m3 (中尾ダム)1,580千m3	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持98.3%、 水道用水1.7%	
⑩ 開発水量	1,400m3/日 長崎市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	393 億円
	測量及び試験費	80 億円
	用地費及び補償費	280 億円
	上記以外	22 億円
⑫ 予算執行状況	504 億円	
進捗状況	65 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	6 億円
	平成17年度	7 億円
	平成18年度	2 億円
	平成19年度	1 億円
	平成20年度	2 億円
⑭ 完成予定年度	H28	
⑮ 現時点での進捗段階(本河内低部ダム)	本体工事	
現時点での進捗段階(浦上ダム)	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率(本河内低部ダム)	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	0 %
	転流工	無し
	本体工事	73 %
各段階におけるおおよその進捗率(浦上ダム)	調査・地元説明	
⑰ 家屋移転(本河内低部ダム)	移転予定戸数	3 戸
	移転済み戸数	3 戸
	移転終了(完了)年度	H19
	移転予定戸数	0 戸
家屋移転(浦上ダム)	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	路木ダム建設事業	
② 水系	路木川水系	
③ 建設予定地	右岸:熊本県天草市	
	左岸:熊本県天草市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成14年度	
⑦ 総事業費	約90億円	
⑧ 総貯水容量	2,290千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持82.8%、水道用水17.2%	
⑩ 開発水量	4,600m <sup>3</sup> /日 天草市	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	52 億円
	測量及び試験費	19 億円
	用地費及び補償費	15 億円
	上記以外	3 億円
⑫ 予算執行状況	37 億円	
進捗状況	42 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	0.5 億円
	平成17年度	0.2 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	1 億円
	平成20年度	2 億円
⑭ 完成予定年度	H25	
⑮ 現時点での進捗段階	生活再建工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	83 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものを。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	五木ダム建設事業	
②	水系	球磨川水系	
③	建設予定地	右岸:熊本県球磨郡五木村	
		左岸:熊本県球磨郡五木村	
④	直轄・補助ダム区分	補助	
⑤	目的	洪水調節	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成2年度	
		変更1:平成18年度	
⑦	総事業費	約162億円	
⑧	総貯水容量	3,500千m <sup>3</sup>	
⑨	アロケーション	-	
⑩	開発水量	-	
⑪	事業費の内訳	本工事費	62億円
		測量及び試験費	34億円
		用地費及び補償費	60億円
		上記以外	6億円
⑫	予算執行状況	145億円	
	進捗状況	90%	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	1億円
		平成17年度	1億円
		平成18年度	1億円
		平成19年度	1億円
		平成20年度	0.2億円
⑭	完成予定年度	H26	
⑮	現時点での進捗段階	転流工工事	
⑯	各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100%
		関連工事	75%
		転流工	100%
⑰	家屋移転	移転予定戸数	5戸
		移転済み戸数	5戸
		移転終了(完了)年度	S58

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	氷川生活貯水池再開発事業	
② 水系	氷川水系	
③ 建設予定地	右岸:熊本県八代市	
	左岸:熊本県八代市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成16年度	
	変更2:平成18年度	
⑦ 総事業費	約61億円	
⑧ 総貯水容量	7,100千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	40 億円
	測量及び試験費	14 億円
	用地費及び補償費	5 億円
	上記以外	3 億円
⑫ 予算執行状況	52 億円	
進捗状況	85 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
	平成17年度	1 億円
	平成18年度	2 億円
	平成19年度	5 億円
	平成20年度	3 億円
⑭ 完成予定年度	H21	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	100 %
	転流工	無し
	本体工事	100 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	3 戸
	移転済み戸数	3 戸
	移転終了(完了)年度	H11

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	竹田水害緊急治水ダム建設事業	
② 水系	大野川水系	
③ 建設予定地	(稲葉ダム)右岸:大分県竹田市	
	(稲葉ダム)左岸:大分県竹田市	
	(玉来ダム)右岸:大分県竹田市	
	(玉来ダム)左岸:大分県竹田市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成9年度	
	変更1:平成16年度	
⑦ 総事業費	約640億円	
⑧ 総貯水容量	(稲葉ダム)7,270千m <sup>3</sup> (玉来ダム)4,550千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	440億円
	測量及び試験費	100億円
	用地費及び補償費	90億円
	上記以外	11億円
⑫ 予算執行状況	397億円	
進捗状況	62%	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	20億円
	平成17年度	26億円
	平成18年度	28億円
	平成19年度	24億円
	平成20年度	23億円
⑭ 完成予定年度	H29	
⑮ 現時点での進捗段階(稲葉ダム)	本體工事	
現時点での進捗段階(玉来ダム)	調査・地元説明	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率(稲葉ダム)	調査・地元説明	-
	用地買収	100%
	関連工事	100%
	転流工	100%
	本體工事	90%
	各段階におけるおおよその進捗率(玉来ダム)	調査・地元説明
⑰ 家屋移転(稲葉ダム)	移転予定戸数	9戸
	移転済み戸数	9戸
	移転終了(完了)年度	H11
家屋移転(玉来ダム)	移転予定戸数	0戸
	移転済み戸数	0戸
	移転終了(完了)年度	-

- 注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。  
注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。  
注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。  
注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。  
注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。  
注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。  
・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。  
・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。  
・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)  
・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)  
・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)  
・本體工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7)：「⑩家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。



① 名称	西之谷ダム建設事業	
② 水系	新川水系	
③ 建設予定地	右岸:鹿児島県鹿児島市	
	左岸:鹿児島県鹿児島市	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成19年度	
⑦ 総事業費	約176億円	
⑧ 総貯水容量	793千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	-	
⑩ 開発水量	-	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	47 億円
	測量及び試験費	24 億円
	用地費及び補償費	100 億円
	上記以外	5 億円
⑫ 予算執行状況	111 億円	
進捗状況	63 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	4 億円
	平成17年度	3 億円
	平成18年度	4 億円
	平成19年度	3 億円
	平成20年度	3 億円
⑭ 完成予定年度	H24	
⑮ 現時点での進捗段階	本体工事	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	60 %
	転流工	無し
	本体工事	9 %
⑰ 家屋移転	移転予定戸数	24 戸
	移転済み戸数	24 戸
	移転終了(完了)年度	H16

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

① 名称	儀間川総合開発事業	
② 水系	(儀間ダム)儀間川水系 (タイ原ダム)謝名堂川水系	
③ 建設予定地	(儀間ダム)右岸:沖縄県島尻郡久米島町	
	(儀間ダム)左岸:沖縄県島尻郡久米島町	
	(タイ原ダム)右岸:沖縄県島尻郡久米島町	
	(タイ原ダム)左岸:沖縄県島尻郡久米島町	
④ 直轄・補助ダム区分	補助	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:平成18年度	
	変更1:平成19年度	
⑦ 総事業費	約130億円	
⑧ 総貯水容量	儀間ダム:575千m <sup>3</sup>	
	タイ原ダム:420千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持 98%、 水道用水 2%	
⑩ 開発水量	300m <sup>3</sup> /日 久米島町	
⑪ 事業費の内訳	本工事費	80 億円
	測量及び試験費	39 億円
	用地費及び補償費	6 億円
	上記以外	5 億円
⑫ 予算執行状況 進捗状況	59 億円	
	45 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
	平成17年度	3 億円
	平成18年度	1 億円
	平成19年度	6 億円
	平成20年度	13 億円
⑭ 完成予定年度	H26	
⑮ 現時点での進捗段階(儀間ダム) 現時点での進捗段階(タイ原ダム)	本體工事	
	用地買収	
⑯ 各段階におけるおおよその進捗率(儀間ダム)	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
	関連工事	40 %
	転流工	無し
	本體工事	39 %
各段階におけるおおよその進捗率(タイ原ダム)	調査・地元説明	-
	用地買収	100 %
⑰ 家屋移転(儀間ダム)	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-
家屋移転(タイ原ダム)	移転予定戸数	0 戸
	移転済み戸数	0 戸
	移転終了(完了)年度	-

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、国費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料に準じて記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)
- ・本體工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7)：「⑩家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。